

## 第 22 回「京都ものづくりバレー研究会」(7 月 16 日開催)

### ご案内とご参加のお願い

京都大学 経営管理大学院  
経営研究センター長  
教授 若林靖永

京都大学経営管理大学院  
「京都ものづくりバレー構想の研究と  
推進 (JOHNAN) 講座」担当  
客員教授 松浦恭也

拝啓 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

京都大学経営管理大学院では、2017 年 4 月より JOHNAN 株式会社 (京都府宇治市) による寄附講座『京都ものづくりバレー構想の研究と推進 (JOHNAN) 講座』を設置し、京都地域開発に関する研究・教育と啓発に取り組んでいます。その活動の一貫として「京都ものづくりバレー研究会」を定期的に開催しており、各方面からの広い参画をお願いする次第です。

つきましては、次回 (第 23 回) 研究会を下記の通り開催致します。ご多用のこととは存じますが何とぞご参加いただき、本研究・実践活動の推進にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

#### 記

##### 1. 開催日時・場所

【日時】 7 月 16 日 (火) 18:30-21:00

【会場】 京都大学吉田キャンパス国際科学イノベーション棟 東館 1 階ラウンジ

【テーマ】 「イノベーションをデザインする」

【ご登壇者】

竹林一氏

(本寄附講座客員教授、オムロン株式会社イノベーション推進本部インキュベーションセンタ長)

【参加費】 無料

※研究会終了後には、会場近くで懇親会を開催する予定です (実費・有料)。

【お申込み】

<https://kmv.kyoto/archives/892>

研究会へ参加を希望される方は、申込みフォームにて手続きをお願い致します。

※研究会では記録として写真を撮影し、SNS に掲載いたします。予めご了承ください。

【講師紹介】

竹林一氏 (本寄附講座客員教授、オムロン株式会社イノベーション推進本部インキュベーションセンタ長)

大阪電気通信大学情報工学科。立石電機 (現オムロン) 入社。流通・鉄道業界の大型プロジェクト PM、新規事業推進。以後オムロンソフトウェア代表取締役社長、オムロン直方代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長を経てオムロン(株)インキュベーションセンタ長、一般社団法人データ流通推進協議会理事等を務める。

【参考】

オムロン竹林一の「製造業のイノベーションをデザインする」  
<https://tech.nikkeibp.co.jp/it/atclact/active/18/101500038/>

新規事業の立ち上げには「起承転結型」の人材が必要  
失敗＝切腹の武士ではなく、生きて帰る忍者式のイノベーション  
<https://logmi.jp/business/articles/320474>

【お問い合わせ】

京都大学経営管理大学院  
京都ものづくりバレー構想の研究と推進（JOHNAN）寄附講座  
松浦 恭也 客員教授、上野 敏寛 研究員  
E-mail : info\*kmv.kyoto（\*を@に変えて送信してください）

以上

京都大学吉田キャンパス  
国際科学イノベーション棟（69 番）

